



東北大学

平成21年8月20日

報道機関 各位

東北大学加齢医学研究所

東北大学加齢医学研究所 第1回市民公開講座
「愉しく老いる—高齢者が元気に暮らせる社会を目指して—」
開催のお知らせ

超高齢社会を迎えたわが国において、加齢や老化機構の研究成果をわかりやすく一般市民へ発信することが強く求められています。今回、主に仙台市在住のご高齢の方、ご家族の方、介護に携わる方などを対象に、最近の認知症研究の成果を紹介し、さらに老いることの意味について考える学術文化講演会を開催し、「愉しく老いる」ことの大切さを市民のみなさんと共有したいと思い、加齢医学研究所第1回市民公開講座を企画しました。今後も加齢医学研究所ではこのような、市民のみなさまと「加齢について科学し、考え、賢く老いる」ことを発信して行くため市民公開講座をシリーズで展開する予定ですのでどうぞご期待ください。

今回の講座では、まず加齢医学研究所での研究のひとつとして、加齢老年医学研究分野・荒井啓行教授に「脳の老化と認知症予防」と題して研究成果を紹介頂き、続いて桜美林大学大学院老年学研究科教授の柴田博教授に「健康寿命をのばすために」と題して高齢者の健康と自立支援についてお話頂きます。最後に、全国民間カルチャー事業協議会顧問、元・読売・日本テレビ文化センター社長の山本思外里（しげり）先生に「上手な老い方で老年期を愉しもう」と題して愉しく老いる秘訣などについてお話いただきます。

なお、聴講は無料ですが、会場の席数が限られておりますため、**事前申し込み制**をとらせて頂きます。聴講ご希望の方は連絡先住所、氏名（複数の場合は全員の氏名）、年齢を往復はがき、ファクス、あるいはE-mailにて下記連絡先に9月30日までにお知らせください。先着順に受け付け、170名に達し次第、締め切らせて頂きますのでご了承ください。なお会場にて車いすなど介助を必要とされる方は予めその旨お知らせください。

開催日時：平成21年10月9日（金）13:30~17:00（開場13:00）

開催場所：せんだいメディアテーク 7F スタジオシアター

主催：東北大学加齢医学研究所

共催：東北大学加齢医学研究所シンポジウム／加齢医学研究所附属ゲノムリサーチセンターワークショップ／東北大学遺伝子実験センター

後援：財団法人厚生会、河北新報社

関連 web：<http://www.idac.tohoku.ac.jp/kouza2009/>

お問合せ先：東北大学加齢医学研究所
〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4-1
TEL:022-717-8504 FAX:022-717-8505
遺伝子導入研究分野 教授 高井俊行
E-mail: kouza2009@idac.tohoku.ac.jp
Web: <http://www.idac.tohoku.ac.jp/kouza2009/>